

憧れの甲子園で100周年記念大会に参加

丸吉幸也(昭和23年 第1期高松高校卒 野球部主将)

昨年12月19～20日、高校野球の聖地・甲子園で催された100周年記念大会に思いがけず出場
の機会を得ることができ、感謝感激で一杯です。第1回大会に出場した先輩たちの偉業に対し、改めて敬意を表する次第です。当時(大正4年)全国より10校のチームが集結し、我が高中チームは京都二中(現・鳥羽)と対戦(0-15の惨敗!)。今回の再戦でも仇敵に勝てなかったのは残念ですが、旧交を温め、さらには記念写真も撮ることができ、とても意義ある日々でした。

私も、同じく今回の試合に参加した吉野君も昭和23年、学制改革により新制高校となった最初の大会～第30回全国高等学校野球選手権大会香川予選では優勝の栄誉、感動に浸ることができました。そんな67年前の若き日の思い出が沸々と蘇ってくるようでした(甲子園出場は、あと一步のところとなりませんでした)。

高松高校のユニフォームに背番号1まで用意してもらい、幹事の方々の先輩への温かい思いやり、行動力に心から感謝の気持ちで一杯です。ありがとう。現役諸君にも、これを糧にして高

野球部らしく文武両道を貫いてほしい。

当時の球友の大半は死亡、彼らにもこの感動の日を味わってもらいたかった。生き残りの我々(吉野、金谷etc.)は本当に幸せ者です。私も85歳まで生きていて本当に良かった。あの甲子園でのマウンド、バッターボックスに一度立つことができたことは終生の思い出としたい。



見よ、御年85歳、丸吉先輩の勇姿を!!

『第1回全国中等学校優勝野球大会再現プロジェクト2015』

特別寄稿

第1回大会に出場した10校が夢の対決! 高高甲子園物語

昭和37年、北四国大会出場決定(「応援団史」より)。

1915年、大阪・豊中グラウンドで行われた「第1回全国中等学校優勝野球大会」。当時、73校が予選参加し、10校が勝ち上がった。100年後、その後輩たちが初戦のカードを再現すべく、あこがれの甲子園のグラウンドに立った。その興奮と感動をお届けする。



試合後のグラウンドで記念撮影。みんな自然と顔がほころんでしまう。

甲子園の土が踏めた、夢のような2日間

林祐一(昭和52年卒)

昨年、高高では一気に57名の甲子園球児が誕生した。メンバーは高高1期生の大先輩、丸吉さん(左ページ参照)、吉野さん、昭和35年卒の高濱さん、昭和38年卒の重松さんから平成25年卒のフレッシュなふたりまで、なかには平成17年の21世紀枠でのセンバツ以来2度目という猛者・平成18年卒の8人もいた。

「第1回全国中等学校優勝野球大会再現プロジェクト2015」は第1回大会出場10校が集まり初戦を再現。初日は広島中(広島国泰寺)×鳥取中(鳥取西)、山田中(宇治山田)×秋田中(秋田)、翌日は京都二中(鳥羽)×高松中(高松)、久留米商×和歌山中(桐蔭)、神戸二中(兵庫)×早稲田実が対戦。その合間に甲子園キャッチボール、開会セレモニーでは入場行進も行われた。

前夜、大阪市内のホテルで野球部・応援団・吹奏楽部各OBによる合同懇親会で氣勢を上げ、勇んで臨んだ試合は午前8時半、京都二中先攻で開始。守備は毎回全員交代。攻撃は昭和47年卒の正箱さんから年齢順に打席に立ち、途中オーバー70の4名の大先輩だけの特別ニングも設

けられた。結果は残念ながら1-11。ただし前回の0-15から100年越しで得点したことを特記しておく。

この記念大会は平成22年6月、第1回大会以来、春夏とも甲子園出場のない広島国泰寺野球部OB会が、同じ境遇の宇治山田高野球部OB会に再現試合開催を提案したことからはじまった。平成25年4月、高高野球倶楽部が参加表明。そして10月、最後に早実硬式野球部OB会が参加表明して10校すべてがそろった。そこから2年、実行委員会の方々の熱意と努力のおかげで素晴らしい大会が実現した。高松在住で私と同期の日下さん(昭和52年卒)と、網谷さん(昭和54年卒)のふたりには、とくに心から感謝したい。

私事ながら、昨冬に生まれた初孫には「祖父は甲子園に出た」と事あるごとに吹聴するつもりだ。また甲子園のグラウンドに立って始めて気づいたことがいくつかある。それについては東京高高野球部OB会の集まりで話す機会があればと思う。まだ登録されていないOBの方は、事務局までご連絡を!!

(連絡先 松野和彦・昭和53年卒)

